



## 2022年(令和4年)9月オホーツク管内倒産集計

2022年10月4日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

### 今年8回目の発生ゼロ 累積件数・負債額ともに過去最低更新

#### 3か月連続で発生ゼロ

■前月比	件数	同数(2022年8月)	0件)
	負債総額	同数( "	0円)
<hr/>			
■前年同月比	件数	2件減少(2021年9月)	2件)
	負債総額	1億7,200万円減少( "	1億7,200万円)

#### 2022年9月の発生状況

2022年9月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は発生がゼロだった。これは発生の無かった前月と比べると同数、前年同月比では件数で2件、負債総額は1億7,200万円の減少となった。

過去5年間の9月の発生状況を見てみると2017年ゼロ件、18年1件、19年1件、20年ゼロ件、21年2件の発生で推移しており、平均発生件数は0.8件、同負債総額が2億2,560万円であるが、今年は発生ゼロに止まった。月間発生ゼロは3か月連続で、今年8回目となる。

## 2022年1～9月の発生累計

今年1～9月の累計発生件数は1件、負債総額で2,356万円。前年同期間と比較すると件数で9件、負債総額では9億6,944万円的大幅な減少となっている。

過去5年間の発生推移は【右・表】の通りで、平均発生件数は11.6件、同負債総額は1億8,158万円。今年に入って9か月が経過しているものの、発生は6月の小規模な1件に止まっているなど極めて抑制が効いた状態にあり、当社が集計を取り始めた1966年以来、最少の件数、負債総額を更新している。

過去5年間と今年1～9月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
2017年	16件	6億8,000万円
2018年	12件	21億3,100万円
2019年	11件	7億8,590万円
2020年	9件	13億1,800万円
2021年	10件	9億9,300万円
2022年	1件	2,356万円

## 今後の見通しと問題点

一時から見ると落ち着いているオホーツク管内の新型コロナ感染状況だが、感染者数は高止まりしており、先行きは見通せない。コロナ禍の影響はさらに長引く公算が大きく、飲食、宿泊、サービス業での試練は続いている。

小麦や大豆、原油価格の高騰に加え、円安による輸入コスト上昇に伴い、仕入価格は上昇しているが、販売価格に転嫁できない小規模業者は多く、最低賃金の31円アップによる人件費増も重なり、収益を圧迫。加えて食料品を中心とした商品の値上げなど物価高の本格化によって個人消費の減退は避けられない状況にある。

抑制状態が続いている管内倒産状況なのだが、限界まで膨らんだ借入金を抱え、業績回復が遅れて厳しい環境に置かれている管内企業が、仕入や人件費コストの上昇が加わることで、倒産は年末に向けて緩やかに増加する懸念がある。

